

## 令和3年度第2回和光市環境審議会議事録

- 日時：令和4年3月22日（火）午後1時30分～午後3時  
場所：市役所6階603会議室  
出席者：岩村沢也委員、秋葉道宏委員、佐藤太一委員、浜口武委員、柴田充委員、  
          峯岸正雄委員、芳野雅廣委員  
欠席者：木原洋一郎委員、佐藤太一委員、野口章委員  
事務局：伊藤市民環境部長、末永市民環境部次長兼環境課長、加藤主幹、中島  
傍聴者：なし  
次第：1 開会  
          2 議題  
          (1) 第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価に  
              ついて  
          (2) 地球温暖化施策の実施状況について  
          (3) その他  
          3 閉会

### 1 開会

事務局

ただいまより、令和3年度第2回和光市環境審議会を開会します。

### 2 議題

(1) 第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価について

秋葉会長

初めに、「(1)第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局

【第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価について説明】

それでは、「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価について」説明いたします。

資料1-1「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価」をご覧ください。

「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価」は、令和3年12月21日付けで、和光市環境づくり市民会議会長から和光市環境基本計画推進調整委員会委員長に対して提出されたものです。

和光市環境づくり市民会議については、市民、事業者及び民間団体が参加して構成し、

市と協働、連携して施策に取り組むとともに、計画の推進にあたって評価・提言を行う組織です。

また、和光市環境基本計画推進調整委員会については、環境の保全に関する施策を総合的に調整し、計画的に推進するため、庁内の職員で構成する組織です。

和光市環境基本計画実行計画の実施状況に対する評価については、和光市環境づくり市民会議において、例年行われており、例年では、前年度の取組状況として、令和2年度の取組状況について評価を行っていただいています。令和2年度が第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】の最終年度であることから、「令和2年度までの目標に対する達成度」として5年間の計画期間を通じての評価についても行っていただいています。

「1. 令和2年度の取組状況」については、各担当課での自己評価では、「◎：よく取り組めた」が「28」、「○：まずまず取り組めた」が「50」、「△：あまり取り組めなかった」が「13」、「×：全く取り組めなかった」が「5」となっており、令和2年度においても各施策を所管する部署が市の厳しい財政状況や行政全般の効率化等様々な課題を抱える中で、同実行計画【改訂版】の着実な進捗を目指して様々に工夫しつつ取り組んだ結果との評価をいただいています。

「2. 令和2年度までの目標に対する達成度」については、各担当課での自己評価では、「達成している」が17、「概ね達成している」が67、「達成していない」が9、「途中で事業を取りやめた」が3であり、「概ね達成している」が約7割を占め、概ね達成しているとの評価となっています。

これらを踏まえ、「3. 評価」としては、令和2年度及び令和2年度までの5年間の取組は概ね適切としつつも、重要な緑地や湧水が相次いで失われている状況を鑑み、豊かな水と緑を守る環境基本計画の精神に反する事態が依然として進行していると指摘せざるを得ないとされています。

緑地保全問題については、市ホームページに「和光湧き水緑地トラスト制度の創設に向けて」のページが作成され、令和2年10月1日付で緑地行政を担う公園みどり課が発足し、今後の展開が期待されています。

地球温暖化問題においては、自治体において様々な気候非常事態宣言を発し、二酸化炭素の排出実質ゼロに取り組んでおり、本市においても前向きな対応が求められています。

最後に、第3次の環境基本計画が令和3年4月1日から始まり、計画の完遂には毎年PDCAのサイクルを的確に回すことが必要不可欠として、締めくくられています。

資料1-2「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況調査」をご覧ください。

「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況調査」は、令和2年度に関係各課所で取り組んだ施策の実績と和光市環境づくり市民会議の会員の意見をまとめたものです。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等が実施できなかったことから、これらを通しての環境に関する意識啓発や実施に当たっての市民団体との協働等に係る事業において、例年の様には取り組めなかった傾向が見られ、全体としては、

令和元年度と比較して担当課による自己評価は下がっています。

資料1-3「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況調査における和光市環境づくり市民会議からの意見等」をご覧ください。

「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況調査における和光市環境づくり市民会議からの意見等」は、資料1-2「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況調査」において同市民会議の会員から出された意見について、市としての対応をまとめたものです。

資料1-1「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価」の和光市環境づくり市民会議からの評価・提言を受け、市では、今後の課題と方向性について共通認識を持ち、施策の計画的な推進を図るため、令和4年1月19日に庁内職員で組織する「令和3年度和光市環境基本計画推進調整委員会」を開催し、各課における施策の取組状況について把握し、全庁的に情報の共有を図っています。

令和3年度から新たな計画期間が始まり、厳しい財政状況を踏まえ、国・県等のいろいろな制度の活用を図りながら、行政一丸となって取り組んでいくこととしています。

本日、審議会の委員の皆様には、和光市環境づくり市民会議からの評価である資料1-1「第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価」を基に、ご意見等がございましたらお願いしたいと存じます。

本審議会でもいただいた意見については、今後の取組において生かしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上です。

秋葉会長

内容について、ご質問やご意見がございましたら伺いたいと思いますので、よろしくお願い致します。

岩村委員

昔、小金井市に住んでいて、湧水で有名な所であったが、宅地開発が進み湧水が枯れてしまった。和光市の白子川沿いを練馬区から歩いたが、起伏のある土地で谷が深い。谷が深いということは、湧水がたくさんある土地だと感じた。和光市も湧水がだいぶ枯れてしまったということだが、原因は、家が建て込んでコンクリートが増え、家の敷地に土が無くなり、雨水がしみないで、下水に一気に流れるようになってしまったこと。まだ、土面の多い家や農家が辛うじて残っているが、このままでは、湧水はなくなる。小金井市では、新築の家を建てる際には、雨水浸透ますの設置を義務づけた。そうしたことで、地下水が増えてきているようだ。ただ、小金井市ではなく隣市の三鷹市が増えている。地下水の層が三鷹市に傾いているためだ。和光市も湧水を増やしたいのであれば、雨水浸透ますを活用するのは、

ひとつの手法ではないか。無理を承知で言うが、コンクリート面が増えると、雨水が浸透しなくなるので、建ぺい率を厳しくしてはどうか。ただ、2019年に建築基準法が改正され、基準が緩くなった。木造の古い家を新築に変えて、防災のためにもまちづくりを進めていく必要があるのだろう。都市計画と防災上の理由からすると、昔ながらの風景である湧水を残すとなると矛盾が生じてしまう。第3次和光市環境基本計画の望ましい姿2「豊かな水と緑を守り育み伝えるまち」の目標は、日本全国どこでも難しいが、踏み込まなければ達成はできないのではないかと。あと、出来ることといえば、少しでも開発の進み方を抑えることではないか。私の法令解釈が間違っているかもしれないが、何か参考にしていただければと思う。

#### 秋葉会長

評価の中で、市ホームページに「和光湧き水緑地トラスト制度の創設に向けて」のページが作成されたとあるが、市民の方から興味を持たれたりしたのか。

#### 事務局

市民から話が出たもので、トラスト制度の創設に向けた一歩であり、市と市民とで話し合いを進めた中で、ここまで進んできているというところですよ。

#### 峯岸委員

和光市の水道水は、4分の1は地下水から汲み上げている。地下水は減ってはいるが、比較的緩やかに減っている。地下水の減りを悪化させないために、浸透ますも実施しています。土地の公有地化の話も進めていただいているが、住宅需要が高く、和光市の地価は高い。なかなか進まない状況ではあるが、市で具体的に対応する部署が創設されたので、これから本格的に取り組まれるのかなと思っている。

越戸川という荒川の支流が流れているが、川のほとんどが湧水である。鮎が取れるほどいい水質であり、悪化させないためにも湧水や生物多様性を維持していこうと取り組んでいる。

#### 岩村委員

浸透ますに関して、和光市だけでなく、上流域である東京都、練馬区や朝霞市を含めて、広域で取り上げていく施策にしなければならないのではないかと。

#### 柴田委員

岩村委員のおっしゃるとおり、和光市として考える取組に加え、流域で考え、連携を図ることが大切だと思う。

#### 秋葉会長

水循環基本法が制定されて、流域全体で考えるようになった。埼玉県には、埼玉県環境科学国際センターがあるが、地下水などの研究は実施しているのか。

東京都では、防災の観点から、災害時は井戸を使いましょうとなっているが、この辺りは井戸はないのか。

水関係全体を含め、地下水、湧水の保全ということで、広域地域で連携して取組んでいただけだと思います。

芳野副会長

私の子供の頃は、井戸を汲み上げて利用していたが、開発が進んで地下水が減り、枯れてしまった。井戸も水を汲みあげてないと、新しい地下水が湧かないんですよね。和光市も井戸があるのは数か所ですかね。東京の細い路地に井戸があるが、災害等を考えると井戸は必要なのかなと思う。

和光市でも区画整理がいくつもあるが、区画整理が始まると樹木が無くなる。次に開発が終わると、固定資産税が高くなり、農家は土地を手放し、新しい家が建てられる。樹木を植える場所が無くなってしまう。公園を作って樹木を植えようとするが、樹木が成長するまでに十年くらいかかる。和光市も50年くらい前は、緑が多かった。ある程度、緑を残す施策を取り組まなければならない。和光市には湧水も多いが、湧水や斜面林は民有地のため、所有者がどう考えるかによるので、行政と所有者とで取り組まなければならない。

岩村委員

都市計画で土地の用途が決められてしまうと、その時点で緑が残せない。都市化に向かうのをブレーキをかけるような考えはないのか。都市部の農家の方は、早く農地を売りたいとなるが、どうなのか。

事務局

開発や緑地を失うことに対するブレーキをかけるというインパクトのある施策を打つのは難しいかと思う。開発の条例において、緑地をもうけるよう規制はかけている。それでも、開発が進んでいる現状からすると、効果的な施策を出せていないのかと思う。

岩村委員

開発したいし、行政としても税収を上げたいということで、都市化に向かわざるを得ないということですよね。

事務局

農地や土地をどうするかは個人の権利となるので、市が条例で規制するのはハードルが高い。市の財政が潤っていて土地を購入できればいいが、なかなか難しい。緑が多い方がいいとは分かっているが、実際に効果が大きい事業に繋がらないジレンマがある。

岩村委員

国や県の子算を使って、何か新しいプロジェクトを出せないか。

事務局

国から、再生可能エネルギーについての補助金は出ている。雨水、湧き水の関係で補助金

が出されれば、市としても施策を出したい。

## (2) 地球温暖化施策の実施状況について

秋葉会長

次に進みます。

「(2)地球温暖化施策の実施状況について」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

### 【地球温暖化施策の実施状況について説明】

それでは、「地球温暖化施策の実施状況について」説明いたします。

資料2-1「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（緩和策）令和2年度実施状況調査」をご覧ください。

「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（緩和策）令和2年度実施状況調査」は、「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】」に記載している「削減に向けた基本施策」について、令和2年度における取組の状況を示したものです。

緩和策とは、温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制するための取組です。

令和2年度の緩和策の取組について、前年度との主な相違点は、次のとおりです。

「施策1 再生可能エネルギーの普及促進」については、「② 公共施設等における再生可能エネルギーの積極的導入と災害時活用の検討」において、取組として、「令和2年5月に朝霞市・和光市ごみ処理広域化協議会において「ごみ処理基本構想」が策定され、基本方針の中で、「環境負荷の少ない広域処理施設の整備」として、廃棄物エネルギーの有効利用と、省エネルギー・再生可能エネルギーの導入により環境負荷の少ない広域処理施設の整備を目指すことが掲げられた。」が挙げられます。

また、課題として「今後整備されるごみ焼却施設は「熱エネルギー」を有効に活用することで、温室効果ガス排出量削減と持続可能な循環型社会に貢献できる熱回収施設を想定しているが、場外での余熱利用については施設補修やトラブル等による施設の稼働停止を考慮し検討を行う必要がある。」が挙げられます。

「施策3 低炭素型の交通体系の推進」については、「② 公共交通及び自転車の利用促進」において、取組として、「第1回和光市地域公共交通会議を実施する。」が挙げられます。

「施策6 環境学習・情報提供の充実」については、「② 体験・学習・交流機会の創出」において、取組として、「新型コロナウイルス感染症の影響により、省エネチェックブック（簡易版）の配布にとどまり、講座やイベント等は実施しなかった。」が挙げられます。

また、「③ 学校等における環境教育の充実」において、課題として、「理科や社会、総合的な学習の時間の年間指導計画に位置づけている環境・エネルギー教育に関わる内容をより充実していく必要がある。」が挙げられます。

資料2-2「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（適応策）令和2年度実施状況調査」をご覧ください。

「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（適応策）令和2年度実施状況調査」は、「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】」に記載している「適応策の方向性」について、令和2年度における取組の状況を示したものです。

適応策とは、温暖化の影響に適切に対応するための取組です。

令和2年度の適応策の取組については、概ね前年度に引き続いて行っています。

前年度との主な相違点は、次のとおりです。

健康分野では、「防災・防犯メール（熱中症）配信」を行っています。

水災害分野では、広報で「在宅避難の啓発」、「大雨に関する注意喚起」、「土砂災害の注意喚起」、「マイタイムラインの啓発」を行っています。

「マイタイムライン」とは、大雨等によって河川の水位が上昇するときに、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列で整理し、とりまとめる行動計画表であり、平時からハザードマップ等で、自宅近くの危険性を確認し、いざという時にすぐに行動できるよう、家族構成や生活環境等の情報をまとめて、災害時に役立つマイタイムラインの作成の啓発を行っています。

また、「ママ、パパ向け災害講座水害時の避難準備について」を行っています。

資料2-3「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】令和2年度実施状況調査における和光市地球温暖化対策委員会からの意見等」をご覧ください。

「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】令和2年度実施状況調査における和光市地球温暖化対策委員会からの意見等」は、資料2-1「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（緩和策）令和2年度実施状況調査」及び資料2-2「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（適応策）令和2年度実施状況調査」に対して、和光市地球温暖化対策委員会の委員から出された意見について、市としての対応をまとめたものです。

和光市地球温暖化対策委員会については、市・市民・事業者と関係団体で構成し、和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進行状況の管理、計画の推進を行う組織です。

「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」については、第3次和光市環境基本計画において統合いたしましたので、第3次和光市環境基本計画の中で取り組んでいくこととしています。

本日、審議会の委員の皆様には、資料2-1「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（緩和策）令和2年度実施状況調査」及び資料2-2「和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）【改訂版】（適応策）令和2年度実施状況調査」をご確認いただき、ご意見等がございましたらお願いしたいと存じます。

本審議会でもいただいた意見については、今後の取組において生かしてまいりたいと考えて

おりますので、よろしくお願いいたします。

説明は以上です。

柴田委員

2年前と、世の中の気候変動に対する認識が全く違う。個人的には、これからどうするかに注力した方がいいと思う。

秋葉会長

和光市では、太陽光発電の使用は増えているのか。これからは、地域として、どう有効利用していくかが重要になっていくのではないか。

例えば、水道だと地下水をポンプで汲み上げるが、電力をかなり消費するため、電力の制限があると困ってしまう。地域で電力を横に使っていきこうという話がある。

手っ取り早いのが、再生可能エネルギーの使用だと思うが、このあたりどうか。

事務局

太陽光発電に関して、公共施設だけの状況であるが、資料2-1に記したとおり、元年度から2年度にかけて継続しているという状況です。

行政としても、二酸化炭素排出抑制という観点からすると再生可能エネルギーの活用は、非常に大きなテーマではあるが、具体的にあまり進んでいない。

市域全体でどれだけ取り組んでいるかデータもなく、現状あまり進んでいない。

補足で、昨年度の実績として、市と民間の複合施設「わぴあ」が出来たが、その中にある温泉施設は、太陽光発電を備えている。国から市に補助金などの情報は入ってきており、庁内で情報共有をし、積極的に補助金を活用してもらうよう調整はしている。

秋葉会長

埼玉県環境科学国際センターでは、埼玉県が積極的に施策を打ち出しているようだが、市と県との連携はどうか。

事務局

市では、二酸化炭素排出量のデータについて、環境国際科学センターで算出したデータを活用はしている。

県と連携して、具体的な事業展開までは進んでいない。

柴田委員

太陽光発電について、個人宅の把握は難しいとしても、主要な事業者の把握はできるのではないか。いざという時に、非常用電源として利用するなど、何が出来るかの検討を進められるといいと思う。

#### 芳野副会長

以前は、市も太陽光発電設置について補助金を出していたので、設置した個人を把握することができた。太陽光発電設置には、高い費用がかかるため、再生可能エネルギーを活かしていくには、市の補助が必要ではないか。

話題に上がっている埼玉県環境科学国際センターで、私も会員になっており、センターへ行くことがある。依頼をすれば、研究員の方に講師に来てもらえる。市民に環境に興味を持ってもらえるよう、行っていただくのもいい。

#### 岩村委員

太陽光発電の事に関して、日本はすぐに補助金の話になるが、ドイツは株の投資のように考えている。土地を所有する人と太陽光発電設備の設置者が別々で、土地所有者が太陽光発電設置者に土地を貸し、電力の売上は設置者が得ようになっている。公共のお金を使わずに、太陽光発電を広めるシステムが出来ている。

学校の屋根などに設置しているが、もっと広い所の設置を推進するプロジェクトができないか。民間と協力して第三セクターを作ってもいいのではないか。儲かるかわからないが、投資といえば、興味を持ってくれるかもしれない。

#### 芳野副会長

先ほどの補助金の話は、個人に対する補助金です。

#### 岩村委員

一つ質問です。豊島区は、民間マンション一体型の庁舎を建てたり、南池袋公園は公園の下には地下鉄が走ったり、変電所が入ったりして、民間企業の資金を使って公共施設を整備している。

今の時代、民間の力を上手く引き出して、公共事業に活かしていくという知恵を集めないといけない。和光市には、民間の活力を利用して地球温暖化に対応する事業はあるか。

#### 事務局

「わぴあ」が該当すると思う。民間の温泉施設との複合施設となっていて、太陽光発電を備えている。

公共施設の運営や建設に、民間企業を活用してはいるが、環境に特化した事業はない。公共施設を建設や運営するときに、環境配慮をするようにはしているので、結果として環境に配慮した施設は出来てはいるが、環境に特化した事業展開していくところまでは進んでいない。

#### 柴田委員

個人で太陽光発電を設置した場合、自家消費するケースが多いが、余剰電力や非化石価値を購入する事業者が存在する。個人は余剰電力や非化石価値を販売することにより、初期費用を下げるができる。民間の色々な方法を研究して、採用すれば、個人への導入も広が

るのではないか。

秋葉会長

国立環境研究所の中に、気候変動適応センターが設置された。ホームページに色々な啓蒙啓発活動など、最先端の情報が載っている。埼玉県環境科学国際センターなどのページも参考にして、和光市独自のやりかたを検討してもいいかと思う。

田口委員

資料2-1 施策6②「体験・学習・交流機会の創出」で新型コロナウイルス感染症の影響により、省エネチェックブック（簡易版）の配布にとどまり、講座やイベント等は実施しなかったとあるが、オンラインで実施はしないのか。

事務局

令和2年度は、通常どおりできなかったが、令和3年度はこれまでどおり実施できた。

省エネチェックブックについては、小学生に夏休み期間に省エネ行動に取り組んでもらうのだが、令和2年度は、夏休みが短縮されたために簡易版の配布としたもので、オンラインでの実施は相違がある。

浜口委員

資料2-1 施策1②朝霞市と和光市で「ごみ処理基本構想」を策定され、熱エネルギーを有効に活用することで、熱回収施設を想定しているとあるが、どのような施設を考えているのか。

事務局

場内での再利用を想定しており、温水に利用したり、電気スタンドを置くことを検討していると聞いている。

### (3) その他

秋葉会長

「(3)その他」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

令和3年度第1回会議において提示した「第3次和光市環境基本計画実行計画（案）」について、資料に記載の2箇所において訂正し、「第3次和光市環境基本計画実行計画」を策定したので報告します。

本審議会の令和4年度の予定について、和光市環境づくり市民会議に実行計画の実施状況に対する評価を行っていただく予定であり、庁内の和光市環境基本計画推進調整委員会への提言について報告するため、令和5年2月頃の開催を予定しています。

なお、当案件以外において審議いただく案件が生じた場合には、適宜、本会議を開催させ

ていただきます。

秋葉会長

議事が終了しましたので、これで議長の任をおろさせていただきます。

### 3 閉会

事務局

本日はお忙しい中、令和3年度第2回和光市環境審議会に出席いただき、誠にありがとうございました。

また、長時間にわたり、様々なご意見等を賜り、感謝申し上げます。本日はこれにて閉会といたします。

どうもありがとうございました。